

# グラナダ旅行記



金城 佑紀

KANESHIRO Yuki

東京電力パワーグリッド(株)  
工務部流通土木グループ

私事で恐縮ですが、学生時代から海外旅行が大好きで、長期休暇の度に家族や友達と旅行を計画しています。今年のGWは10連休の超大型連休がとれるという絶好のチャンスであったこともあり、奮発してヨーロッパ（パリ・バルセロナ・グラナダ）へ旅行に出かけました。今回の旅行は高校の同級生との女子2人旅で、ショッピングやおいしい料理、ヨーロッパならではの街並みを写真におさめることが目的でした。ここでは、今回の旅行先で私が一番気に入ったスペイン・グラナダについてご紹介させていただきます。

当初スペインはバルセロナのみ訪れる予定だったのですが、インスタグラムで「#スペイン旅行」と検索しながら旅行先を吟味していたところ、とても素敵な写真がいくつも投稿されていたので詳しく調べてみると、南スペイン・アンダルシア地方にあるグラナダのアルハンブラ宮殿であるということがわかり、急遽旅行先として加えることにしました。パリからは飛行機で約2.5時間の距離だったので、先行してLCCの手配をすませ安心して、ア

ルハンブラ宮殿のチケットを購入しようと公式HPにアクセスしたところ、アルハンブラ宮殿内のナスル朝宮殿という一番の写真映えスポットの前売り券が、約3か月前にもかかわらず既に売り切れていることに気が付きました。途方に暮れた私たちは、公式サイトが無理なら違う手を、と他の手段を探してみると、旅行代理店で発見。定価の約3倍の価格でしたが仕方なく購入し、無事入場できることとなったのですが、早め早めの計画が重要であると改めて感じました。インターネットを見ると、私たちみたいにチケット難民になってしまう方もたくさんいるようで、アルハンブラ宮殿に行く予定の方は、まずは入場チケットを確保していただく方がおすすめです。そんな苦勞のすえ訪れたアルハンブラ宮殿・ナスル朝宮殿は、お天気にも恵まれたこともあり、想像以上に素晴らしい景色で、来てよかったと心の底から思えました。女子旅だったこともあり、アルハンブラ宮殿だけで合計200枚くらいの写真を撮影しあい、満足しました。GWにもかかわらず、日本人はほぼおらず、非日常の空間を満喫できました。一



アルハンブラ宮殿（ナスル朝宮殿）



アルハンブラ宮殿からの眺め

つ、地味な洋服で行ってしまったため、写真写りが今一だったことが心残りなので、今後は写真写りを考えたコーディネートにしたいと思います。

また、もう一つの醍醐味である食事についてもグラナダのレベルは高かったです。グラナダに行くと決まってから知ったのですが、グラナダのバルでは飲み物1杯につきタパスを1品無料(!)で提供してもらえます。スペインではどこでもそうなのかというところではなく、グラナダの他数都市のみだそうなのですが、この素晴らしいホスピタリティ精神に感動し、訪れる前からわくわくしてしまいました。実際のタパスも期待を裏切らず、無料といってもかなりレベルの高いものでした。写真は1杯2ユーロのサングリアに無料でついてきたタパス(オリーブ、生ハム、チーズ、バケット)です。写真では壁と一体化してしまっていてわかり辛いですが、サングリアも2ユーロとは思えないほど豪快に、なみなみと注いでくれ、驚きのコストパフォーマンスで終始感動しっぱなしで、もし出来ることならば移住したいと思ってしまうくらいの町でした。お酒好きの方にはたまらない場所だと思うので、機会があれば是非旅行先の候補に入れてみてください。私自身も、またいつか絶対に再訪したい場所になりました。いくつかバルをハシゴしたところで気分よくほろ酔いになった私たちは、お土産屋さんに入ると制御が効かなくなり、必要以上に買ってしまったことでスーツケースがパンパンになりましたが、それも良い思い出になりました。

スペインに限らずヨーロッパは日がとても長く、夜21時~22時頃まで明るい状態で安心して散歩することができたので、毎日2万歩以上を記録するほど歩き回りました。いつもは職場と家の往復で1万歩も歩かず、大した運動もしていないため、旅行中は

毎日くたくたでしたがとても楽しかったです。

スペインに行った人は、みんなスペインの虜になると噂には聞いていましたが、私も例外でなく大好きな国の一つになりました。英語が通じるだろうと考え、スペイン語は必要ないだろうと、「こんにちは」程度のスペイン語しか事前に勉強していなかったのですが、自分のズボラさを反省し、今度来る際にはレストランで注文できるくらいの会話力を身につけてから訪れたいと思います。今回の旅行で、改めて旅行の楽しさを感じたので、またここに来られるようお仕事を一生懸命頑張ります。



グラナダのバルにて



グラナダのバルにて